

木炭精煉計

一般的に黒炭は電気を通さないとされていますが、良質の木炭は電気を通します。木炭精煉計は木炭の電気抵抗を測り、どれくらいの質かを数値で示されるのでとても興味深いです。

実際にできた炭を測ると、よくない炭だと思ったものが意外と良かったり、その逆もあつたりととても勉強になります。

備長炭は数字では0～2度(少ない方がいい炭)、時山炭など黒炭は3～9度になります。作ったものの中で一番よかったのは3.5度でした。温度を上げることが重要なのですが、上げすぎるとぼろぼろの炭が多くなるのでバランスが難しいです…。昔の時山炭は備長炭にも匹敵したと言われているので、目下の目標は2度です！



少数のいい炭より全体がどうなのかが問題ですが・・・

つどい
ときの華

時地区のかたなら誰でも参加OK♪

ときの華



主催 時ふるさとづくり協議会 福祉部

↑Instagram「時ナウ」より去年のもの

5月には時のグランドゴルフ大会の予定で、そのことを書くと思っていましたが、雨で中止になりました・・・。

6月16日(月)13:00から、時ふるさとづくり協議会 福祉部会主催で「つどい ときの華」という集まりがあり、そこで少し健康についての話をするようになりました。

最近は、テレビでも健康番組が多いので、皆さんの方が良く知っているかもしれないので、あまり大手メディアに出てこない話や、炭焼きを始めてから気づいた体の使い方も絡めての運動など、皆様の興味を引くような話ができればいいと思います。

鍼灸師としての雑感 ～体の滞り～



水の循環も滞るとよくないですね

東洋医学では氣、血、水の滞るところが病の原因になると考えます。では、どこに滞りができるかというと、埃(ほこり)に例えると分かりやすいかと思います。

掃除をしていて埃がたまるところは、物の淵、角、溝、風の通らない場所などが考えられると思います。体では、皮膚の皺、普段動かさない場所、皮膚・筋肉・腱・骨の間、骨の凹凸部や脂肪などになると思います。滞りをなくすためには、適度な水分、適度な運動、排泄(汗も含む)が大事だと思います。

日々の掃除では行き届かないときには大掃除が必要になります。体も同じです。鍼灸に限らず、整膚、整体、カイロプラクティックなどなど、身体にあったものをするのがいいと思います。

大垣を感じるディフューザー

仏壇店と地域おこし協力隊 タッグ

大垣市上石津町の時山地区で作られている「時山炭」を使ったアロマディフューザー「いりり香」を、同市久瀬川町の横田仏壇店の7代目横田伊佐嗣さん(49)と、時山炭の製炭を受け継ぐ地域おこし協力隊の中村明弘さん(47)が協力して開発した。水都大垣ならではの香りなど3種類を販売している。

(甲斐崎通斗)

4月下旬、時山地区の牧田川沿いにある窯から煙が上がった。2022年から大垣市の地域おこし協力隊の一員として、時山炭の製作を始めた中村さん。炭となる木がところ狭しと詰められた窯に火をくべた。窯を開き、木を蒸し焼きにすることで炭が出来上がる。

時山炭は火力が強く火持ちが良いことが特長。炭が硬く、たたくと金属音がするところから「チンチン炭」とも呼ばれている。地区では一度は生産者が途絶えたが、中村さんが中心になって復活に取り組んできた。

炭を作る中で、サイズが小さく炭として使えないものがあつた。中村さんは「いりり香」の紹介で横田さんと話し合いを重ね、商品開発のアイデアを練った。

「アロマも西洋では薬学のひとつと話す横田さんは薬剤師の資格も持つ。目をつけたのは炭が持つにおいの「吸着効果」。炭は雑なにおいを消臭するのに使われることが多いが、香りを炭に吸いこませて拡散するディフューザーとして活用することを思い付いた。

中村さんはどうにか活用できないかと、大垣ビジネスサポートセンター(大垣市)の紹介で横田さんと話し合いを重ね、商品開発のアイデアを練った。

商品の出来栄に中村さんは「大垣の自然の匂いを感じられる」と満足。横田さんは「廃棄してしまう商品もこういった形で価値が出る。ぜひ大垣の時山炭を知ってもらい、きっかけになってほしい」と期待を込めた。ディフューザーの形は、時山炭と合うようにいりりの形に仕上げた。炭という。なんとも火を付けたくなるが「火気厳禁です」。

横田仏壇店のほか、大垣市奥の細道むすびの地記念館内の芭蕉庵で購入できる。



時山炭を使い開発

いりりの形をしたディフューザー。中の時山炭にアロマオイルを垂らすと香りが広がる。大垣市久瀬川町の横田仏壇店で



窯に火をくべる中村さん＝大垣市上石津町細野で